

第1回地区懇談会（金子地区）の概要	
日 時	平成29年7月19日（水）午後7時～午後9時
場 所	金子公民館
出席委員	久保政喜委員 栗原桂一委員 澤田里恵委員 滝智広委員 瀧澤啓次委員 畫間達夫委員 森谷和雄委員 師岡武委員
欠席委員	梅沢誠委員 比留間ふじ委員
傍聴者	1名
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通が少なく、地域内及び市街地までの移動が不便。</li> <li>・図書館や市役所など広域対応施設が豊岡地区に集中的に配置されているため、利用しにくい。</li> <li>・自然環境が良い。</li> <li>・地区公民館に支所が併設されていることは有り難い。</li> <li>・学校や公民館など、施設が1箇所にまとまっているので、相互の交流が図れている。連携が図れていることで、世代間交流も図れています、お互いが助け合う関係にある。金子地区で生まれ育った子ども達には将来も住み続けて欲しい。</li> <li>・地区内には、市街化調整区域が多く、まちづくりを見直せば、開発（宅地造成）などの余地があるのではないか。</li> <li>・根岸地区の児童は、新久小学校へ通っているため、金子地区で浮いている感じがある。金子地区のコミュニティを形成する上での課題である。</li> <li>・保育所が地域内にあるのは良いが、老朽化している。今後、施設をきれいにするとともに、0歳児から預けられるようにして欲しい。</li> <li>・加治丘陵にある山仕事の広場は、もっと活用すべきである。</li> <li>・高齢者が活動できる場所が少なくなっている。公共施設への交通手段なども考えて欲しい。</li> <li>・金子小学校の講堂は、早めに整備して欲しい。</li> </ul>	

第2回地区懇談会（金子地区）の概要	
日 時	平成29年8月17日（水）午後7時～午後9時
場 所	金子公民館
出席委員	久保政喜委員 栗原桂一委員 澤田里恵委員 滝智広委員 瀧澤啓次委員 畫間達夫委員 比留間ふじ委員 森谷和雄委員 師岡武委員
欠席委員	梅沢誠委員
傍聴者	4名
○委員意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の案では、保育所は小学校隣接地を想定しているようだが、具体的な土地の目途が立っているのか。</li> </ul>	
<p>→現時点では、未定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校敷地内に保育所を入れることはできないのか。</li> </ul>	
<p>→市としても検討している事項である。ただし、校舎内に一緒にすることは難しく、保育所用に園舎や園庭、遊具を別途配置する必要があり、充分な広さがとれるかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と保育所は所管する省庁が異なるが、同じ敷地内とすることができますのか。</li> </ul>	
<p>→文部科学省では、学校と他の施設の複合化を想定しており、全国的にも事例が増えている。入間市でも校舎内に学童保育室が入っている学校がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館（金子分館）を小学校と複合化すれば、スペースができ、地域包括支援センターを入れることもできるのではないか。</li> </ul>	
<p>→市としても、既存施設を活用する際に検討している事項である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置案の中に、金子第2保育所の土地を活用することが記してあるが、西三ツ木より東の地区は、子どもが少ない。金子地区の特性を考慮して、小中学校周辺が最適地ではないか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの中学校は、グラウンドを芝生化すると良い。ケガも減る上、地表面熱くならない。維持費も少ないと聞くので導入してみてはどうか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、人口を維持する方策を講じないのか。</li> </ul>	
<p>→人口減少対策としては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「働きやすいまちをつくる」「ずっと住みたいまちをつくる」「子どもの育ちを支える」「まちの魅力を活かす」を基本目標に、様々な取組を検討している。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所をきれいにするだけでも若い世代を呼び込むきっかけになる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代のお母さんは、施設を良く見ている。保育所がきれいなら、通わせたいと思うきっかけになる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金子地区は、住むところとしては良いが、公共施設の老朽化がマイナス要素である。人を呼び込むためには魅力づくりが大切ではないか。公共施設もその一翼を担って</li> </ul>	

欲しい。

- ・地区センター化については、行政の効率化だけで進めて欲しくない。他の自治体では、地区センター化により失敗している例もある。

→地区センター化については、具体的な案はできていないが、動きやすい体制作りが必要である。職員の配置や業務内容など、内容については今後検討していきたい。

- ・長年、木蓮寺地区に住んでいるが、子どもが結婚すると、長男を除き地域から出て行ってしまう。現在、地区には小学生が25人程度である。学校を通じて3世代交流を図っている。人口減少を何とか食い止めたい。

- ・金子地区には、広いグラウンドがないので、多目的に使って、子ども達の利用ができるグラウンドを整備して欲しい。

- ・根岸地区は、東金子地区の学校の配置で影響があると考える。

→通学区については、改めて再編する必要があると考えている。

- ・農村環境改善センター周辺の樹木は展望台などと一緒にNPO法人が管理しているようで、手が行き届いていて良い。この管理と同じレベルで小中学校の樹木が管理されると良い。

- ・農業環境改善センターは、今後も残して欲しい施設である。

- ・農業研修センターは、どういう施設なのかよく分からない。

- ・農業研修センターは、傍目からは、製茶の時期以外、あまり使われていないのではないか。

- ・根通り学習等共用施設の入った建物は、今後どうなるのか。

→JAと共に所有している施設であり、JAの改修計画もあるようだが、現段階では今後の方向性は不明である。

- ・木蓮寺（桂）地区にあるパーゴルフ場には、近隣市町の利用者が目立つ。市の施設であるため、市民以外からは利用料を聴取したらどうか。

- ・桜山展望台の前に杉の木があるが、展望の妨げになっているので、切った方が良い。切ることで、茶どころ通りからも展望台が見えるようになる。

第3回地区懇談会（金子地区）の概要	
日 時	平成29年9月22日（金）午後7時～午後9時
場 所	金子公民館
出席委員	久保政喜委員 栗原桂一委員 澤田里恵委員 滝智広委員 瀧澤啓次委員 畫間達夫委員 比留間ふじ委員 森谷和雄委員 師岡武委員
欠席委員	梅沢誠委員
傍聴者	1名
○委員意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明及び意見交換会の参加者が少ないようなので、是非、市からも追加で周知を図って欲しい。</li> <li>・市民の多くが無関心ではないか。将来のことを考え、もっと関心をもって欲しい。</li> <li>・働き盛りの世代は、説明会の出席が難しい。様々なイベントとタッグを組んで、参加者に周知を図ることや、アンケートを実施してみてはどうか。</li> </ul> <p>→市としては、個別の施設について説明すること以上に、取組の経緯や課題、公共施設マネジメントの全体像を知ってもらいたい。これを理解いただいた上で、議論しないと必要な意見がもらえないと考えている。従って、簡単に行うことよりも、順を追って説明したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画では、施設の種類ごとに優先順位をつけて取組むのか。また、計画期間が長く、目先のことではないので、興味をひかないのではないか。具体的な内容を示さないと、関心を示さない。</li> <li>・まち・ひと・しごと創生総合戦略については、近隣自治体も同様に取り組んでいる訳であり、それ以上のことをやらないと、人口減少は食い止められないように感じる。東京の方が良ければ、流出してしまうことになりそうだ。</li> <li>・小学校、中学校の整備時期はいつ頃か。</li> </ul> <p>→今後、15年程度で耐用年数としている60年を迎える。耐用年数は一つの目安である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の複合化は、セキュリティ上大丈夫なのか。</li> </ul> <p>→先進事例にあるとおり、様々な工夫をしたい。</p>	

第4回地区懇談会（金子地区）の概要	
日 時	平成29年10月23日（月）午後7時～午後9時
場 所	金子公民館
出席委員	久保政喜委員 栗原桂一委員 澤田里恵委員 瓜澤啓次委員 塙間達夫委員 比留間ふじ委員 森谷和雄委員 師岡武委員
欠席委員	梅沢誠委員 滝智広委員
傍聴者	なし
<p>○委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に図書館を複合化し、現在の図書館に地域包括支援センターを配置してもらえると、利用者が増える。是非、そうしてもらいたい。 →地区センター化する際には、地域包括支援センターは入れる予定である。</li> <li>・地区センター化したら、今の公民館と支所はどのように変わらるのか。 →地区懇談会で議論いただいた事業計画がまとまった段階で、地区センターに必要な機能、職員体制などを検討し、地区センターに関する個別の計画を策定することを考えている。その中には、証明書等について、将来、コンビニエンスストアで発行手続きをすることも踏まえて、支所機能の見直しも考えている。また、公民館機能についても、現在の形態を継続していくのか、違った形とするのかについても今後検討していく。</li> <li>・地区センター化により、人員が減るとサービスも減りそうである。現在の支所機能は「支所」として残してもらいたい。 ・狭山市では、これまで学校の統廃合が行われてきているが実情は調べているか。 →細かくデータまではないが調べている。</li> <li>・狭山市の事例は、是非参考にしてもらいたい。児童数が少ないと、運動会を開催してもつまらない。地区の体育祭と一緒にやっても良いと思う。 →狭山市をはじめ、所沢市、飯能市では一部の小中学校ではあるが、すでに統合している。そのような事例を参考としていきたい。狭山市は施設を除却した後の利用がうまくいっていない。飯能市は山間部が中心で統廃合が行われている。児童、生徒数の問題もあるが、元々地域に一校しかない場合、中々統合という訳にはいかないようだ。</li> <li>・金子地区は、小中一貫教育にも取り組んでいる。あとは子どもが増えるだけだと思う。 →金子地区は、元々小学校、中学校が隣同士なので、小中一貫教育が取り組みやりやすい。今後は、さらなる教育環境の充実を図っていきたい。</li> <li>・根岸地区の子どもは新久小学校に行っている。新久小学校が廃止になるという話を東金子地区で聞いた。 →新久小学校は、東金子小学校との統廃合で、市としては、東金子小学校を残す案を</li> </ul>	

示している。歴史的な背景を踏まえ、東金子小学校を優先した。地区懇談会では地区体育館と入れ替えて、中学校の近くに移転できないかという意見もあった。

→台風21号の影響で、(新久小学校に)3世帯くらい避難したと聞いている。川沿いを通らなければ避難できない避難所は無くすべきではないか。

→公共施設の配置については、防災面を含めて地域内でのバランスが重要である。東金子地区でも同様の意見があった。

- ・この機会に、根岸地区は金子地区に戻した方が良いと思う。

- ・学校区と行政区の違いはいかがなものか。

- ・この地区懇談会では、まず地区の構想を決めようというものである。また、今後、計画がまとまれば、詳細な計画を策定する上で地区住民に意見を聞くのだろう。今は大きな枠を決めることが大事である。

→意見の通り、金子地区の方向性はある程度決まってきた。組織、人員体制は次のステップである。

- ・公民館（地区センター）は、今後民間に委託するのか。

→地区センターを民間委託するという考えは現時点ではない。そういう方向が出てくれば検討する。

- ・貸館だけなら民間委託で良い。金子は他地区と比べたら公共施設がまとまっていて、やりやすいのではないか。反対はあまりないと思う。

- ・公共施設整備はタイムスケジュール的にどんな感じか頭に入れておきたい。保育所は、耐用年数から見て残り10年位かと思う。優先順位を決めて再整備して欲しい。保育所の入所者数は、定員の50%くらいである。少ない理由は、古い、汚いからではないか。

→現実的な課題として、保育所は建設後40年程度経過しているので、整備の優先順位は高い。小中学校は耐用年数を考えながら再整備していくたい。

- ・金子小学校の複合化は、建て直すことが前提か。その中に図書館等を配置するのか。

→児童のセキュリティを考えて複合化していくたい。

- ・一般の人を入れるとなれば、目的外利用もある。それなりの費用もかかるだろう。どのくらいの規模になるのか。

→試算はできないが、市全体の保有面積が減ることは確かである。

- ・指定管理方式とするのか。

→現時点では、検討がなされていない。指定管理方式の場合、課題があると思う。

- ・体育館の床がボロボロである。バレーボールをしていて、ボールが床から戻ってくる際、床の木片がとげ状になって、手に刺さる。配慮願いたい。

→修繕が必要な施設は順次実施している。今後、安全に使えるようにしていきたい。

- ・金子地区は、公共下水道（本管）が埋設されているのにつなげず困っている。公共施設マネジメントは建物だけか。30年先を考えるなら一緒に検討してもらいたい。

- ・市街化調整区域は、エリアが広く、公共下水道（サービス管）を敷設するのにも莫大な費用がかかる。そこで、合併浄化槽としている。市長も、市街化調整区域の整備までは、考えていないと思う。
- ・青梅市は、入間市境まで公共下水道を伸ばしているので、霞川の金子橋で汲み上げれば、技術的にはつなげるのではないか。
- ・市役所の建替えは賛成である。ただし、是非、市内企業に請負ってもらいたい。市外企業だけでは、市内が潤わない。公共事業は市内企業で回せると良い。  
→施工者については、今後市内企業が参加できるよう考えなければならない。
- ・市役所は市の顔である。埼玉県庁はボロボロである。
- 市役所の耐震化については、現在、整備方向を示したのみである。今後、意見を聞きながら進めていきたい。
- ・金子地区センター内に支所を配置するなら、市役所（本庁舎）とのシャトルバスを設定してもらいたい。
- 役割分担を考える。利用形態を考える中で、そういう話もあるのではないかと思う。
- ・市役所は、豊岡地区ではなく、博物館の方へ配置してみたらどうか。1つしかない施設は、どこにあっても不便な人が出てくると思う。
- ・この計画で、最も早期に実施する施設はいつ頃から始まるのか。  
→時期は未定であるが、施設整備については、保育所の優先順位が高いと考えている。
- ・今後の公民館の運営を考えると、市の職員も入れて社会教育指導者を養成していく方が良い。